

令和8年度 山形県 県土整備部 業務概要

一般国道344号 安田バイパス(酒田市)
令和7年10月開通



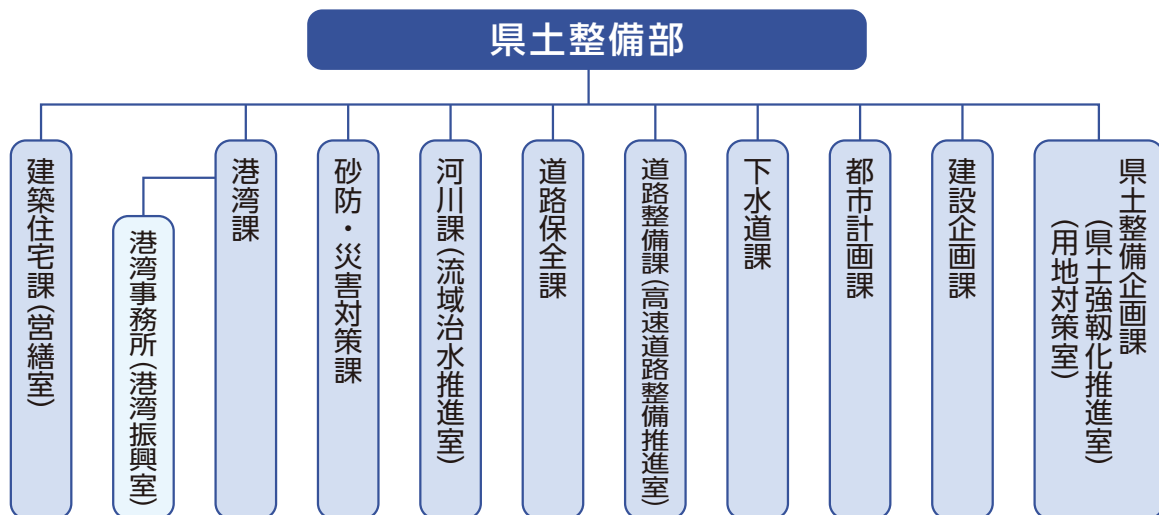
山形県
Yamagata Prefectural Government



Contents

1	組織体系	1
2	令和8年度 県土整備部当初予算	2
3	令和8年度県土整備部における主要施策の体系	3
3-1	安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進	5
3-2	交流を支える交通ネットワークの充実強化	12
3-3	山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成	13
3-4	建設DXによる生産性向上と人材の育成・確保	16

1 組織体系



◆各総合支庁建設部

総合支庁部局名	所在地	管轄地域(市町村)	問い合わせ
村山総合支庁建設部	〒990-2492 山形市鉄砲町2-19-68	山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町	(総合案内) ☎023-621-8288
	〒991-8501 寒河江市大字西根字石川西335	寒河江市、河北町、大江町、西川町、朝日町	(総合案内) ☎0237-86-8700
	〒995-0024 村山市楯岡笛田4-5-1	村山市、東根市、尾花沢市、大石田町	(総合案内) ☎0237-47-8600
最上総合支庁建設部	〒996-0002 新庄市金沢字大道2034	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村	(総合案内) ☎0233-29-1300
置賜総合支庁建設部	〒992-0012 米沢市金池7-1-50	米沢市、南陽市、高畠町、川西町	(総合案内) ☎0238-26-6000
	〒992-0012 米沢市金池7-1-50	長井市、小国町、白鷹町、飯豊町	(総合案内) ☎0238-88-8200
庄内総合支庁建設部	〒997-1392 三川町大字横山字袖東19-1	鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町	(総合案内) ☎0235-66-2111

2 令和8年度 県土整備部当初予算

◆一般会計

(単位：千円)

区 分	令和6年度 政府補正 予算対応 A	令和7年度 当初予算 B	令和7年度 16か月予算 (A + B) C	令和7年度 政府補正 予算対応 D	令和8年度 当初予算 E	令和8年度 16か月予算 (D + E) F	前年度比	
							当初予算 E / B	16ヶ月予算 F / C
1. 投資の経費	34,774,974	67,434,985	102,209,959	33,092,637	62,173,153	95,265,790	92.2%	93.2%
(うち、強靱化分)	(27,043,075)	-	(27,043,075)	(28,835,688)	-	(28,835,688)	-	(106.6%)
(1) 公共事業費	29,501,801	20,514,832	50,016,633	28,642,045	20,547,213	49,189,258	100.2%	98.3%
(うち、強靱化分)	(25,728,428)	-	(25,728,428)	(27,498,456)	-	(27,498,456)	-	(106.9%)
(2) 単独事業費	-	13,936,111	13,936,111	-	15,498,173	15,498,173	111.2%	111.2%
(3) 災害復旧事業費	503,301	20,013,463	20,516,764	61,040	12,439,861	12,500,901	62.2%	60.9%
(4) 直轄事業負担金	4,769,872	12,970,579	17,740,451	4,389,552	13,687,906	18,077,458	105.5%	101.9%
(うち、強靱化分)	(1,314,647)	-	(1,314,647)	(1,337,232)	-	(1,337,232)	-	(101.7%)
2. 一般行政費	-	12,884,198	12,884,198	81,883	12,281,991	12,363,874	95.3%	96.0%
(1) 維持修繕費	-	11,466,605	11,466,605	-	11,192,407	11,192,407	97.6%	97.6%
(2) 補助費等	-	864,802	864,802	-	746,392	746,392	86.3%	86.3%
(3) 物件費	-	552,791	552,791	81,883	343,192	425,075	62.1%	76.9%
3. 繰出金	-	880,376	880,376	-	976,665	976,665	110.9%	110.9%
4. 人件費	-	4,539,610	4,539,610	-	4,465,440	4,465,440	98.4%	98.4%
合 計	34,774,974	85,739,169	120,514,143	33,174,520	79,897,249	113,071,769	93.2%	93.8%

参考)

災害復旧を除く投資の経費	34,271,673	47,421,522	81,693,195	33,031,597	49,733,292	82,764,889	104.9%	101.3%
--------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	--------	--------

※総合支庁予算を含む。直轄事業負担金については災害復旧分を含む。令和8年度当初予算は空港事業を除く。

◆特別会計

(単位：千円)

区 分	令和6年度 政府補正 予算対応 A	令和7年度 当初予算 B	令和7年度 16か月予算 (A + B) C	令和7年度 政府補正 予算対応 D	令和8年度 当初予算 E	令和8年度 16か月予算 (D + E) F	前年度比
							当初 E / B
港湾整備事業	-	5,446,910	5,446,910	-	6,358,304	6,358,304	116.7%

◆公営企業会計 (流域下水道事業)

(単位：千円)

区 分		令和7年度 当初予算 A	令和8年度 当初予算 B	前年度比 B / A
収益の収支	収益の収入	5,358,463	5,405,025	100.9%
	収益の支出	5,542,894	5,692,568	102.7%
資本の収支	資本の収入	2,565,644	3,447,795	134.4%
	資本の支出	3,167,340	4,086,408	129.0%

3 令和8年度県土整備部における主要施策の体系

◎…新規、一部新規、拡充

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

(1) 激甚化・頻発化する気象災害に強い県土づくりの推進

～国や市町村等との連携による最上川水系などでの「流域治水」の推進～

〈災害復旧・改良復旧〉

- 建設災害復旧事業費(令和6年7月大雨関係分) 5,907,514千円
- 建設災害関連改良対策事業費(令和6年7月大雨関係分) 892,500千円

〈ハード対策〉

- 河川整備補助事業費、河川整備単独事業費、国直轄河川事業費負担金 14,744,292千円(R8:3,513,924千円)

最上川水系流域治水プロジェクト等に基づく、浸水被害の軽減を図るための計画的な河川整備の推進

- ◎河川流下能力再生事業費 2,150,000千円

新たに策定した河川流下能力再生計画に基づく、河川の堆積土砂・支障木の撤去、土砂の再堆積抑制対策等の実施

〈ソフト対策〉

- 洪水警戒情報提供事業費、土砂災害警戒避難情報提供事業費(情報基盤整備関係分) 120,500千円(R8:107,900千円)

雨量や河川の水位、土砂災害危険度情報などの効果的な県民への提供の推進

～災害・雪に強い地域づくりの推進～

〈緊急輸送道路整備〉

- 道路改築事業費、街路整備事業費(うち緊急輸送道路整備関係) 6,559,276千円(R8:3,450,515千円)

〈土砂災害対策等〉

- 土砂災害対策事業費(砂防、地すべり、急傾斜地) 5,176,923千円(R8:2,575,923千円)
- 土石流等の土砂災害を防止するための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備等

〈住宅耐震化〉

- ◎良質住宅ストック形成推進事業費(住宅耐震改修支援関係分) 15,722千円
- 住宅の耐震改修、減災対策、住替えに対する支援



河道掘削
改良復旧(荒瀬川/酒田市)



河川整備(古佐川/河北町)



砂防施設(人家、避難所の保全)

(2) 社会インフラ等の効率的・効果的な更新・整備等の推進

- 道路施設長寿命化対策事業費、河川管理施設長寿命化対策事業費、砂防関係施設長寿命化対策事業費、港湾施設長寿命化対策事業費

15,138,086千円(R8:7,745,767千円)

公共土木施設の長寿命化対策(点検、補修、更新)、橋梁の耐震化、劣化状況に応じた効果的な道路舗装のメンテナンスの実施

- 県営住宅長寿命化等対策事業費 1,410,366千円(R8:174,642千円)

県営住宅の外壁・屋根改修等の長寿命化対策工事の実施

〈道路埋設管路老朽化対策〉

- ◎流域下水道事業【公営企業会計】(全国特別重点調査を受けた下水道管路改築関係分) 1,021,000千円

全国特別重点調査によって緊急性が高いと判定された下水道管路の改築

- ◎道路保全事業費(路面下空洞調査関係分) 129,000千円

道路陥没を未然に防ぐための路面下空洞調査の実施



緊急輸送道路上の橋梁更新



空洞探査車による路面下空洞調査の例
(国土交通省HPより)

(3) カーボンニュートラルの実現に向けた県土づくりの推進

- 酒田港整備事業費、国直轄港湾事業費負担金、酒田港施設整備費【特別会計】(基地港湾整備関係分) 8,467,168千円(R8:8,152,168千円)

洋上風力発電の拠点となる酒田港の埋立護岸、ふ頭用地等の整備

- 道路保全事業費(道路照明LED化関係分)、

港湾施設管理運営費(臨港道路照明LED化関係分) 131,400千円

新たに策定した山形県道路脱炭素化推進計画に基づく道路照明のLED化の推進

- ◎流域下水道事業【公営企業会計】(汚泥再生利用関係分) 507,462千円

流域下水道事業で発生する下水汚泥の活用による堆肥化や消化ガス発電等の実施



酒田港の基地港湾整備(酒田市)

※予算額には令和7年度補正予算（政府補正予算対応分）を含む。括弧書きがないものは、全額令和8年度当初予算。

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

- 国直轄道路事業費負担金 9,381,275千円(R8:8,566,027千円)
国直轄高規格道路等の整備促進(県が事業費の一部を負担)
- 道路改築事業費 4,943,284千円(R8:2,426,052千円)
I Cアクセス道路等の整備、県管理の国道や県道における道路改良やバイパスの整備
- ◎酒田港物流拠点化推進事業費 29,440千円
酒田港利用拡大に向けたポートセールスの実施、
コンテナ貨物利用促進等に対する助成



道路改築事業国道287号

3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

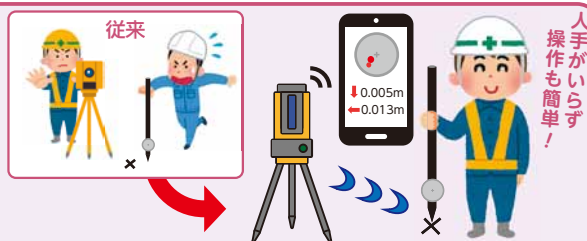
- まちなか賑わい空間形成事業費 56,250千円
文翔館前の山形市中心エリアにおいて、市などの関係機関と連携し「居心地がよく歩きたくなる」空間を形成
- 都市公園活用推進事業費 696,780千円(R8:561,120千円)
中山公園のヤマリョースタジアムナイター照明L E D化など、都市公園の利便性・安全性向上のための施設更新等の実施
- 交通安全道路事業費 3,763,557千円(R8:3,267,111千円)
事故危険箇所、交通渋滞の解消のための交差点改良や、通学路の合同点検を踏まえた歩道整備等の安全対策の実施
- やまがたの誇れる景観魅力発信事業費 4,157千円
景観出前授業、景観づくりハンドブック作成、景観ビューポイントサポーター感謝状贈呈等
- ◎良質住宅ストック形成推進事業費(新築・リフォーム支援関係分) 546,682千円
快適に長く暮らすことができる住宅の新築及びリフォームに対する支援



まちなか賑わい空間のイメージ

4 建設D Xによる生産性向上と人材の育成・確保

- 建設D X推進事業費 10,195千円
建設D Xの推進のため、I C T施工に係る研修会等による人材育成、3次元データを扱えるP C購入等の環境整備を実施
- ◎建設D Xチャレンジ事業費 12,000千円
中小事業者へのI C T機器の普及のため、県の建設工事においてI C T機器活用促進のためのモデル工事を実施
- 建設業魅力発信事業費 2,044千円
建設業の魅力を中学生等の若い世代に発信していくためのコンテンツ作成への支援
- 建設業人手不足対策事業費 3,817千円(R8:0千円) ※R8当初事業をR7補正に前倒して実施
多様な人材確保支援のための女性・外国人材の確保・活用に関するセミナー開催、資格取得等への支援
- ◎土木職等確保・育成対策事業費 976千円
職員のリクルート対策の強化及び新たな育成制度の創設、若手職員の専門性向上のための資格取得支援制度の創設等



I C T機器活用モデル工事の実施



建設業の魅力を伝える出前授業の様子
(建設業魅力発信事業)

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

(1) 激甚化・頻発化する気象災害に強い県土づくりの推進

河川整備

近年の洪水で浸水被害が発生した河川における再度災害防止のための河道掘削や堤防整備等、最上川水系流域治水プロジェクト等に基づく計画的な河川整備を推進します。

令和8年度実施内容

令和8年度の事業実施箇所(R7補正予算含む)

- 古佐川外33河川



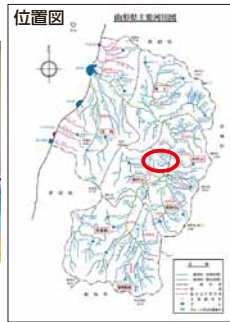
河北町押切地区 浸水状況(R2.7豪雨)

事例 一級河川 最上川水系 古佐川(河北町谷地外地内)

最上川のバックウォーターに対する浸水被害の解消のため、国土交通省、河北町とも連携し、築堤整備、河道掘削等の治水対策を行う。
(令和8年度実施内容:設計、用地補償、樋門工事、築堤工事等)



R4.10住民説明会



令和2年7月 浸水範囲 最上川・古佐川(河北町)
(写真提供:国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所)

河川流下能力再生事業費

新たに策定した河川流下能力再生計画に基づき、氾濫の危険性が特に高い箇所について、堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川の流下能力を再生させ、県民の安全・安心の確保を図ります。

あわせて、土砂の流出抑制のため流路保全対策(床止め)を拡充します。

また、コスト縮減や作業の効率化のため、浚渫サイクル化(定期的な浚渫)の試行にも取り組みます。

令和8年度実施内容

① 流下能力対策

堆積土砂及び支障木の撤去を行うことで河川流下能力を確保し、浸水被害の軽減を図ります。

② 流路保全対策(床止め)

上流からの土砂流出による再堆積を抑制するため、床止めの設置などを行います。

浚渫サイクル化(試行)

- 詳細な現地調査を省略しコスト縮減
- 定期的な浚渫による作業の効率化(3河川5箇所)
- 浚渫のサイクルはモニタリング結果から「4年に1回」
- ➔試行結果を踏まえ、サイクル化拡大

流路保全対策(床止め)(拡充)

- 大雨により土砂の流出が著しく進行した箇所で床止めを設置し土砂流出抑制
- 浚渫土を有効活用し低下した川底の復元による河道安定化
- ➔土砂流出抑制を推進することによる将来の維持管理費軽減



事例 一級河川 最上川水系 馬見ヶ崎川ほか

● 着工前



● 完成



堆積土砂及び支障木の撤去 馬見ヶ崎川(山形市土樋)

堆積土砂及び支障木の撤去 上の沢川(山形市村木沢)

床止め設置 大鮎貝川(白鷹町高玉)

建設災害関連改良対策

災害復旧にあたり、原形復旧のみでは事業効果が限定される場合、改良費を加えて改良復旧を行い再度災害防止と安全度の向上を図る必要があります。

令和6年7月の大雨では、二級河川日向川水系荒瀬川において、溢水による家屋や農地の浸水など甚大な被害が発生したことから、河道拡幅、河道掘削等の改良復旧を行うことで流下能力を向上し、再度災害防止を図ります。

令和8年度実施内容

令和6年7月大雨における改良復旧工事
荒瀬川(酒田市)：用地買収、河道掘削工事

事例 令和6年7月大雨における改良復旧工事の実施状況

●荒瀬川 改良復旧工事：小平沢橋 橋梁撤去工事(酒田市)



被災時(撮影：R6.7月)



橋梁撤去 工事中(撮影：R7.12月)



橋梁撤去 完了(撮影：R7.12月)

●荒瀬川 改良復旧工事：前山橋付近 河道掘削工事(酒田市)



被災時(浸水被害状況)
(撮影：R6.7月)



河道掘削 工事中
(撮影：R7.10月)



河道掘削 完了
(撮影：R7.10月)

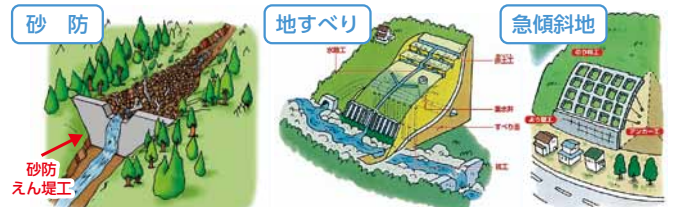
土砂災害対策(砂防、地すべり、急傾斜地)

土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊による被害から県民の生命や人家、公共施設等を守ることを基本としています。
(国庫負担率1/2以上)

令和8年度実施内容

	砂防	地すべり	急傾斜地
実施予定箇所数	41箇所	6箇所	29箇所
主な施設	砂防えん堤、溪流保全	集水井、水路	のり枠、よう壁

土砂災害対策事業費のイメージ図



イラスト提供：土砂災害防止広報センター

事例紹介

砂防事業 遊佐町杉沢



対策前



対策後(R5.3 完成)

令和6年7月の豪雨
土石流発生

地すべり事業 鶴岡市西目



対策前(R4.12 災害発生)



対策後(R6.12 完成)

急傾斜地事業 白鷹町十王



対策前(H26.7 災害発生)



対策後(R6.5 完成)

街路整備

都市計画道路において、現道拡幅、幹線道路の4車線化、電線共同溝整備による無電柱化、無散水消雪による歩道整備等に取り組んでいます。

令和8年度実施内容

事業実施予定箇所: 旅籠町八日町線(本町工区)
外 9箇所



R6事業完了
どうがたこがね ぼぼちよう
道形黄金線(馬場町工区)(鶴岡市)



事業中
はたごまちようかまち ほんちよう
旅籠町八日町線(本町工区)(山形市)

事例

きたほんちようとびた あらまち
北本町飛田線(新庄市新町地内)



事業前



事業中

事例

あかゆていしゃじよう にいろね
赤湯停車場線(南陽市二色根地内)



事業前



完了後

災害に強いみちづくり・雪に強いみちづくり

平成23年に発生した東日本大震災では、緊急時に迅速な避難、物資輸送、医療・応急活動を円滑かつ確実に実施するための緊急輸送道路ネットワークの重要性が再認識され、特にこれらの道路については、豪雨などの自然災害に強い道路とする必要があります。

平常時・災害時を問わず、山形県内の主要な交通を担う県管理道路において、落石防止対策及び斜面崩落対策を実施することで、災害による道路の寸断等による集落の孤立や広域迂回を防止し、緊急輸送道路及び孤立の危険性がある集落へのアクセス道路の安全・安心な交通の実現を図ります。

令和8年度実施内容

①落石防止対策

道路路側斜面からの落石等による危険性がある箇所等について、緊急輸送道路や孤立の危険性がある集落へのアクセス道路を中心に、落石防止対策を実施します。

②法面対策

急峻で崩落等の危険性がある法面について、緊急輸送道路や孤立の危険性がある集落へのアクセス道路等を中心に、法面対策を実施します。

事例②法面対策

(主)真室川鮭川線(真室川町大字大滝地内)
ブロック積擁壁工



対策前



対策後

山形県は、県全域が豪雪地帯に指定され、このうちの76%が「特別豪雪地帯」に指定されています。

雪による交通障害は、経済活動や日常生活に多大な影響をもたらすことから、雪崩予防柵等や防雪柵、消雪施設等を整備・保全することで、安全で安心な冬期交通の実現を図ります。

令和8年度実施内容

①冬期間も安心して通行できる道路の整備

緊急輸送道路や孤立の危険性がある集落へのアクセス道路等を中心に、雪崩や地吹雪に対して雪崩予防柵等や防雪柵等の整備・保全を行います。

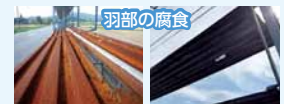
②堆雪による交通障害の解消

冬期間における安全で快適な道路とするために、家屋連坦箇所等における消雪施設の整備・保全を行います。

雪崩対策の例



防雪柵修繕の例



無散水消雪(放熱管)の例



良質住宅ストック形成推進(住宅耐震改修支援関係)

県民の命や財産を守るために、住宅の耐震化対策等に支援を実施します。

令和8年度実施内容

住宅の耐震改修及び減災対策に対して県と市町村が協調して補助金を交付。令和8年度は物価及び人件費高騰を踏まえ、耐震改修の補助上限額の見直しを行います。あわせて、耐震性のある住宅への住替えに新たに支援を行います。

	補助対象 ※市町村により異なる	補助率 ^{※3}	補助上限額 ^{※3}
耐震改修	lw ^{※1} を1.0以上とする耐震改修	市町村が定める補助率	全ての世帯：140万円(うち県費35万円)
減災対策	①簡易耐震改修：lwを0.7以上1.0未満とする耐震改修 ②部分耐震改修：主要な居室等の部分評点を1.5以上とする工事、1階のみlwを1.0以上とする工事、屋根等の重量を軽減する工事 ③防災ベッド、耐震シェルター		全ての世帯：30万円(うち県費7.5万円)
住替	耐震性のない住宅を除却し、耐震性のある住宅※2への住替え		

※1 lw(上部構造評点)：震度6の地震に対する建物の耐震性を示す指標 0.7未満＝倒壊可能性が高い 0.7～1.0未満＝倒壊する可能性がある 1.0以上＝応倒壊しない
※2 新築又は中古住宅を購入する場合を除く ※3 市町村により異なる

耐震改修の例



接合部の金物補強



基礎の補強



筋交いによる補強



構造用合板による補強

減災対策の例



瓦葺き

金属板葺き

減災対策の例



道路除雪

県内全域が豪雪地帯に指定されている雪国山形県において、道路除雪は冬期間の交通や物流を確保するために必要不可欠で、県民生活にも直接的に影響する非常に重要な業務です。

県管理道路の除雪業務は、管理延長のうち、車道は約9割、歩道は約6割を除雪路線として設定しています。

県では、約50工区の道路除雪業務を発注・契約しており、延べ約1,200人の除雪オペレーター(運転手)が、冬期間の交通確保のために尽力しています。

実施状況(参考)



車道除雪状況①



車道除雪状況②



歩道除雪状況

県内全域が豪雪地帯に指定される本県では、冬期(12月～3月)の道路除雪等に対する要望や問い合わせが非常に多く寄せられております。

電話が集中した場合、対応が遅れることによる電話対応の品質低下が懸念されるほか、対応に多くの時間を要することとなります。

本事業は、冬期における道路除雪等に伴う要望や問い合わせへの対応業務を、民間のコールセンターへ委託することで、電話対応業務に精通した企業のノウハウを導入し、対応品質の向上を図るとともに、業務の効率化を図るものです。

令和8年度実施内容

- 1 コールセンター導入に向けた調整
総合支庁へのヒアリング、報告様式の作成、電話内容の把握・分析、マニュアル作成等
- 2 コールセンターの試行(実際のコールセンター業務)
→ 1～2公所程度の開庁時間
(8:30～17:15)での試行を想定



(2)社会インフラ等の効率的・効果的な更新・整備等の推進

道路施設長寿命化対策

県が管理する橋梁、舗装、トンネル等の道路施設について、「傷んでから治す」維持管理から「傷みが小さいうちから計画的に補修する」予防保全型の維持管理への移行を推進するとともに、橋梁の集約・撤去の検討も踏まえ、県民生活の安全安心を確保しながら将来的な財政負担を抑制していきます。

また、大地震による落橋等の防止対策として、既設橋梁の耐震補強を実施します。

令和8年度実施内容

約550橋の定期点検を行い、橋梁点検車では点検が困難な橋梁を中心に、新技術の活用を推進します。

また、画像解析技術を活用することにより、写真からコンクリートのひび割れを自動解析し、点検・診断作業の効率化を図ります。

令和8年度実施内容

① 橋梁 (橋梁定期点検、補修計画策定、長寿命化対策工事、耐震補強工事)



塗膜劣化による錆
⇒放置すると腐食



再塗装による長寿命化

② 舗装 (長寿命化対策工事)



ひび割れが広範囲
⇒大規模な補修が必要



損傷が小さいうちに
計画的に補修 (予防保全)

河川管理施設長寿命化対策

県が管理する河川管理施設のうち、ゲートを有する樋門 (496基)は、設置後40年経過したものが50%を超え、今後、施設全体の急激な老朽化の進行が懸念されます。

本事業は、山形県河川管理施設長寿命化計画 (樋門) に基づき、点検及び防錆対策や機械・電気設備等の補修及び更新を行い、あわせて予算の平準化と長期的なライフサイクルコストの縮減を図りながら、施設の長寿命化を図る事業です。

令和8年度実施内容

- 河川管理施設 更新・修繕 18箇所

事例 水門及び樋門における整備・更新内容

防錆対策



無動力化の推進 (フラップゲート化)



砂防関係施設長寿命化対策

砂防関係施設は、土砂災害から住民の生命と財産を守るための重要な社会資本であり、その機能や性能を維持していく必要があります。破損や老朽化で機能低下が確認された砂防関係施設に対して、施設の損傷に応じた補修及び改築等の対策工事を実施し、長寿命化を図ります。

本県が管理する主な砂防関係施設 (令和8年3月末現在)

- 砂防えん堤、床固工 1,377基
- 地すべり防止施設 (集水井、横ボーリング等) 1,372施設
- 急傾斜地崩壊防止施設 (法枠、擁壁工、落石防護柵) 2,628施設

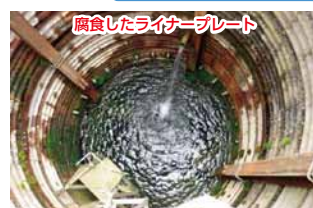
令和8年度実施内容

- 砂防えん堤、床固工 5基
- 地すべり防止施設 (集水井、横ボーリング等) 2施設
- 急傾斜地崩壊防止施設 (法枠、擁壁工、落石防護柵) 5施設

砂防設備 (破損した砂防えん堤の改築)



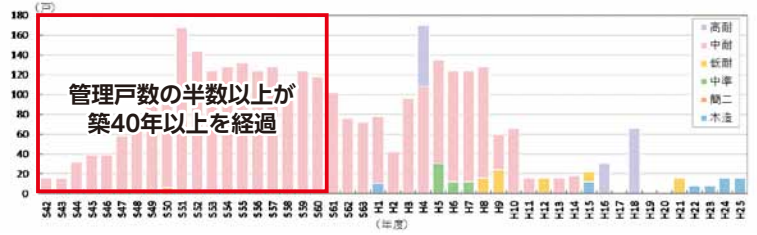
地すべり防止施設 (老朽化した集水井の改築)



県営住宅長寿命化等対策

県では3,275戸(76団地、198棟)の県営住宅を管理していますが、この半数以上が建設後40年を超過し、老朽化が進んでいる状況にあります。

本事業は、県営住宅の適正な管理のため、県営住宅長寿命化計画に基づき、外壁・屋根や設備の改修など、予防保全型維持管理を行い、県営住宅施設の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減に繋げるとともに、事業費の平準化を図る事業です。



令和8年度実施内容

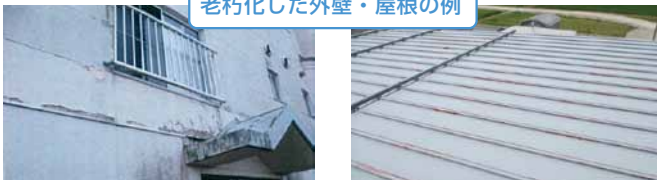
1 外壁・屋根改修工事

老朽化した外壁・屋根を改修します。

2 共用部照明器具LED化工事

共用部の照明器具をLED照明器具に改修します。

老朽化した外壁・屋根の例



事例 躯体の長寿命化、安全性確保のための工事

外壁改修工事
県営南山形アパート4号棟 外壁改修+ベランダ防水+手すり改修



全国特別重点調査を受けた下水道管路改築

埼玉県八潮市の下水道管路の破損に起因する道路陥没事故を受け、国土交通省より管径2m以上かつ30年以上経過した下水道管路を対象とした全国特別重点調査の実施が要請されました。

調査の結果を受け、緊急度が高いと判定された箇所について、速やかに対策を実施していきます。

令和8年度実施内容

- 全国特別重点調査対象管路(山形処理区・山形天童幹線)のうち、緊急度Ⅰ※と判定された管路の詳細設計及び修繕・改築工事の実施

※原則1年以内の速やかな対応が必要

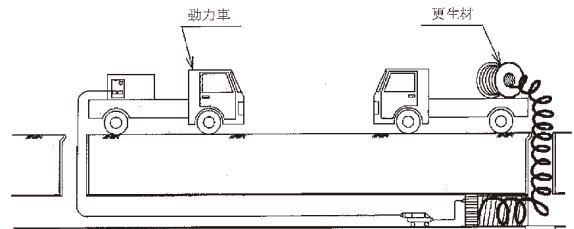


緊急度Ⅰ:劣化ランクA (浸入水A、石灰乳付着)

事例紹介

管路改築工事事例(製管工法)

破損や腐食した既設管の内面に新たに管を構築することにより、耐荷性能、耐久性能を確保



道路保全事業(路面下空洞調査)

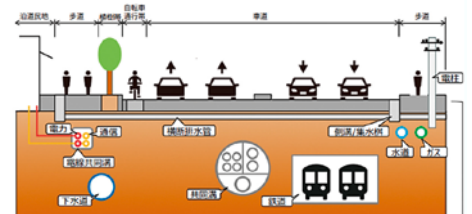
令和7年1月28日に埼玉県八潮市で下水道管路の破損に起因すると考えられる大規模な道路陥没が発生しました。

この事故を受け、山形県内の各道路管理者及び地下占用物件の占有者において、定期的に相互の点検・調査の計画・結果について共有するほか、道路陥没を防ぐ取組みなどを連携して実施することにより、占用物件に起因する道路の構造や交通への支障等に適切に対応することを目的に、「山形県地下占用物連絡会議」が設立されました。

県としても道路管理者の立場から、路面下の状況等を把握するため、路面下空洞調査を実施します。

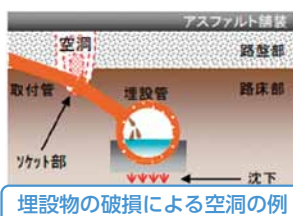
路面下空間イメージ

出典:国土交通省HPより

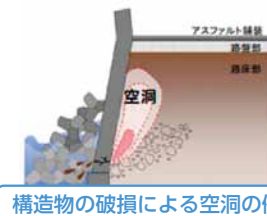


令和8年度実施内容

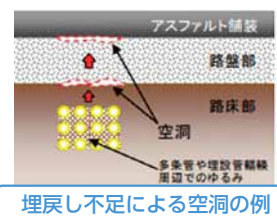
山形県が管理する道路について、市街地等を中心に、路面下の空洞調査を実施します。



埋設物の破損による空洞の例



構造物の破損による空洞の例



埋戻し不足による空洞の例

出典:国土交通省HPより

(3)カーボンニュートラルの実現に向けた県土づくりの推進

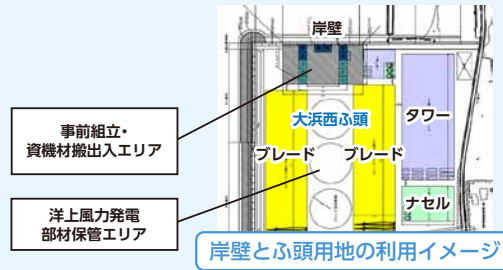
酒田港整備

酒田港では、海洋再生可能エネルギー（洋上風力）発電の導入促進を図るため、洋上風力発電に必要な発電設備の建設や維持管理の拠点となる基地港湾の指定（令和6年4月）を受け、整備事業に着手しました。

- 大浜西ふ頭の整備 ●波除堤の整備
- 岸壁及び航路・泊地の整備[国直轄事業(負担金)]
- 高砂埋立護岸の整備(関連事業)

令和8年度実施内容

- 大浜西ふ頭の整備工事
- 波除堤の整備工事
- 高砂埋立護岸の整備工事

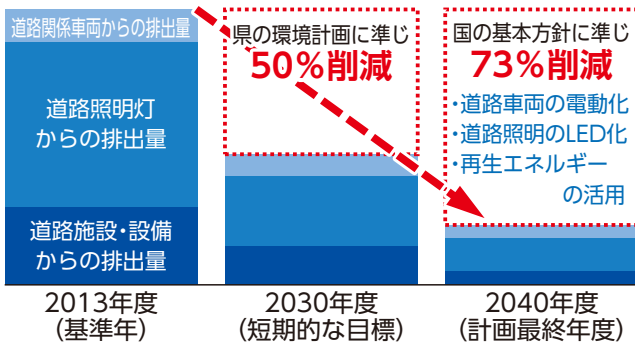


(画像は国土地理院地図を加工して作成)

道路保全事業(道路におけるカーボンニュートラルに向けた取組み)

令和2年8月に2050年まで温室効果ガス実質排出ゼロを目指す『ゼロカーボンやまがた2050』を宣言しました。令和7年10月に施行された改正道路法において道路の脱炭素化の推進が位置付けられ、さらには同法に基づき国土交通大臣が定める『道路脱炭素化基本方針』が示され、脱炭素化の取組を進めるための枠組みが導入されました。山形県では、新たに策定した『道路脱炭素化推進計画』に基づく取組みにより、地球環境の保全に配慮しながら、安全・安心で快適に利用できる道路環境の整備を推進します。

道路管理分野における取組によるCO2排出量の削減イメージ



LED化による効果



出展:国土交通省近畿地方整備局資料

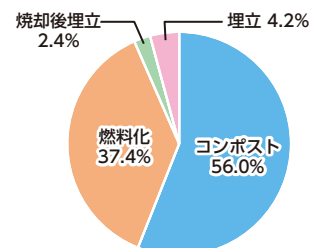
流域下水道事業【公営企業会計】(うち汚泥再生利用関係)

【堆肥化】
本県の流域下水道の汚泥処理については、全て県内の民間処理業者へ委託し、高い割合で有効利用を図っています。令和6年度の実績は、処理量の93.4%が再生利用され、56.0%をコンポスト化(堆肥化)しています。

【消化ガス発電】
山形浄化センターでは、下水汚泥を消化タンクで加温し、消化(メタン発酵)させることで、汚泥の減容化を行っています。その消化過程で副次的に発生する消化ガスを発電に利用し、電力の自給化を図っています。 ◎令和6年度電力自給率約31%

令和6年度下水汚泥処理状況 単位:t

	処理数量	比率
有効利用	コンポスト	12,617 56.0%
	燃料化	8,426 37.4%
	計	21,043 93.4%
有効利用	焼却後埋立	535 2.4%
	埋立	945 4.2%
	計	1,480 6.6%
合計	22,523	100.0%



令和8年度実施内容

【堆肥化】

今後も、肥料需要の状況把握・流通経路の確保等について、農政部局と連携し、山形県汚泥リサイクル協議会との意見交換等で民間処理業者の動向を注視しながら最大限の有効利用に努めます。

【消化ガス発電】

引き続き効率的な運転に努め、低炭素・循環型社会の構築に向けて貢献していきます。

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

道路改築

県土の基盤となる広域道路・地域内道路ネットワークを整備することで、産業や観光の振興に不可欠なヒト・モノの交流を支えると同時に、大規模災害時にも有効に機能するダブルネットワーク化を推進します。

令和8年度実施内容

- 1 広域道路ネットワークを生かすインターチェンジ(IC)や拠点へのアクセス道路の整備
 - 高速道路・高規格道路のICに接続するアクセス道路の整備を推進します。
 - 重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進します。
- 2 生活圏間、都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備
 - 一般国道や主要な県道において、道路の改築、拡幅やバイパスの整備を推進します。
 - 地域の実情に応じた効率的な整備を推進します。
(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)

事例 国道287号米沢長井道路



川西バイパス(I期)開通



米沢川西バイパス施工状況(米沢市)

酒田港整備(うち外航クルーズ船受入関係)

酒田市街地へ徒歩で移動が可能な本港地区において、小型外航クルーズ船が入港可能となるよう施設整備を実施します。また、従来から外航クルーズ船の寄港で利用されている北港地区において、寄港時の保安確保のため、保安員配置及びフェンス等設置を行います。

令和8年度実施内容

- クルーズ船が係留する岸壁の附帯施設(係船柱、防舷材)等の整備
- 外航クルーズ船受入れのための保安対策の実施

本港地区の施設整備



現況

酒田港への外航クルーズ船の寄港



外航クルーズ船寄港時の様子



クルーズ乗船客で賑わう酒田市内

3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

まちなか賑わい空間形成

文翔館、市役所、新市民会館等が集積する山形市中心エリアにおいて、さらなる賑わいと多様な交流を生み出す空間形成を目指します。歩行者や自転車が安心して通行できる通行環境確保に向けた道路空間の再配分や、公共空間の活用可能性を検証する社会実験などを通じ、行政・関係機関・地域住民が連携したまちづくりを推進します。



地図データ: Google, ©2024 CNES / Airbus, Maxar Technologies
航空写真: 事業対象範囲 (山形市旅籠町～七日町地内) : 事業対象範囲
: 県道エリア

令和8年度実施内容

ウォーカブル基本構想に基づき、歩行者・自転車の安全確保および賑わい創出に向けた以下の取り組みを実施します。

①道路空間再配分の社会実験

道路における車線の変更や自転車レーンの設置などの社会実験

②公共空間活用等の社会実験

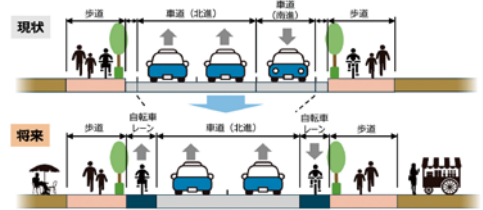
広場等を活用した賑わい創出イベントやファニチャー設置などの社会実験

事例 整備イメージ・社会実験の参考例

①道路空間の事例とイメージ



自転車レーン (山形市七日町)



道路空間再配分イメージ

②社会実験の実施 (公共空間へファニチャー設置、キッチンカー設置等)



令和7年度の社会実験状況 (R7.10月)

都市公園活用推進

山形県が管理する都市公園は、老朽化が進行しており、施設の修繕・更新が必要となっています。このため、安全・安心に利用していただけるよう、「山形県都市公園長寿命化計画」を策定し、計画的に施設の修繕・更新などの長寿命化対策を実施しています。

令和8年度実施内容

山形県総合運動公園 (空調設備) や西蔵王公園 (手摺・安全柵) など9公園で修繕・更新工事等を実施します。

事例 山形県総合運動公園陸上競技場改修 (天童市山王地内)

施設の紹介



陸上競技場全景



陸上競技場利用状況
(Jリーグモンテディオ山形公式戦)

©MONTEDIO YAMAGATA

改修概要

陸上備品、サブグラウンド、陸上競技場等の改修



陸上備品更新 (R6完了)



ゲート改修 (R6完了)



トラック改修 (R7完了)

交通安全道路 ～通学路の合同点検等を踏まえた安全対策の推進～

通学時の児童を交通事故から守るため、学校や教育委員会、警察及び道路管理者が連携して通学路の点検を行い、ハード対策が必要とされる箇所については、緊急的な対策としての歩行空間のカラー化や、恒久的な対策としての歩道設置、交差点改良等を実施します。

事例 通学路点検結果に基づく対策実施事例

危険な箇所には緊急的な対策を実施します



交差点の巻き込み部への車両防護柵の設置などにより、交差点付近での児童への車両の衝突を防止します。



車両防護柵など

(一)東根尾花沢線 東根市立東根中部小学校学区

恒久的な対策として歩道整備等も推進します



通学児童数が多く、危険性の高い箇所においては、歩道の新設や改善を着実に進めます。



歩道整備

歩道整備

(主)寒河江村山線 寒河江市立三泉小学校学区

流域下水道整備

本県では、市町村の行政界を越えて一体的な汚水処理を実施した方が効率的な地域において、流域下水道事業として処理場や主要な管路の整備・維持管理を行っており、現在、山形、村山、置賜、庄内の4つの地域で事業を実施しています。

令和8年度実施内容

①ストックマネジメント計画に基づく施設の改築更新

テレビカメラによる劣化度調査等を含む管路調査の実施、処理場の設備更新等の実施

②広域化のための管路の整備

酒田市松山地区の流域下水道編入に伴う管路整備工事の実施

③上下水道耐震化計画に基づく施設の耐震化

管路の耐震化工事、ポンプ場の耐震詳細設計の実施

④耐水化計画に基づく施設の耐水化

処理場・ポンプ場の耐水化詳細設計の実施

事例紹介



管路調査(テレビカメラ調査)



管路の耐震化(マンホール浮上防止)



広域化のための管路整備(酒田市松山地区の流域下水道編入)

やまがたの誇れる景観魅力発信

山形ならではの美しい景観を体感できる『やまがた景観物語』おすすめビューポイント』を通じて誇れる景観の魅力を広く発信することで、「将来にわたって景観を整備保全する県民意識の醸成」と、景観を切り口とした「地域の個性や多様な交流の促進による地域活性化」を図ります。



令和8年度実施内容

1 誇れる景観を学ぶ場の提供

- ① 景観出前授業【継続】
市町村と連携し、小中学生を対象とした景観の出前授業を開催します。
- ② 景観探検まちあるき【継続】
地域住民が地域の魅力ある景観を再認識するためのまちあるきを開催します。
- ③ 景観地域づくりハンドブックの作成【新規】
県民の景観保全に対する意識を高め、具体的な保全活動につなげていくため、景観づくりに関するハンドブックを作成・配付し普及啓発を図ります。
- ④ 広告景観コンテスト【継続】
景観づくりに貢献する屋外広告物の普及を目指し広告景観コンテストを開催します。

2 誇れる景観の情報発信

- ⑤ Instagramフォト・ムービーセレクション、巡回写真展【継続】
SNSを利用した投稿キャンペーンを開催し、魅力あふれる投稿写真を展示する写真展を県内各所で巡回開催します。
- ⑥ 景観ファンクラブの運営【継続】
景観事業に賛同・応援してくれる方々と景観保全に取り組む地域の方々との関係人口を増やすため「景観ファンクラブ」の運営(季節毎の見所や催し物情報・保全活動の状況等を掲載した会報の定期発行)を実施します。

3 誇れる景観の環境整備

- ⑦ 景観ビューポイントサポーター感謝状贈呈【継続】
ビューポイントで景観保全に取り組む地域の方々に感謝状を贈呈し、関係者間のつながりを創出します。



① 景観出前授業



② 景観探検まちあるき



④ 広告景観コンテスト



⑦ 感謝状贈呈



良質住宅ストック形成推進(新築・リフォーム支援関係)

山形の厳しい気候においても快適に長く暮らすことができる住宅の新築及びリフォームに対する支援を実施します。

「やまぽっかの家」(やまがた省エネ健康住宅)とは？



最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性と気密性能を持つ住宅をいいます。
少ないエネルギーで快適に暮らすことができます。



「やまぽっかの家」のことなら
タテッカーナHPへ



「やまぽっかの家」を
説明した動画を公開中

令和8年度実施内容

1 新築支援

一定量の県産木材を使用した高気密・高断熱住宅「やまぽっかの家」(やまがた省エネ健康住宅)の建設に対して補助金を交付

補助金額	募集戸数	要件
50万円 (定額)	260戸 春と秋の2回に分け募集	・「やまぽっかの家」の認証を取得すること ・県産木材を一定量 [※] 以上使用すること など <small>※住宅の延べ面積(m)×0.1㎡×50%</small>

2 リフォーム支援

以下の支援対象工事を含む住宅リフォームに対して県と市町村が協調して、補助金を交付。
令和8年度は、断熱改修工事(やまぽっかりノベ)に対して補助額を加算します。

	補助率	補助上限額 <small>※市町村により異なる</small>	支援対象工事
移住・新婚 子育て世帯	1/3	全体断熱改修：50万円(うち県費25万円) 部分断熱改修：40万円(うち県費20万円) 通常リフォーム：30万円(うち県費15万円)	① やまぽっかりノベ ② バリアフリー化 ③ 克雪化 ④ 県産木材使用
上記以外の世帯	1/5	全体断熱改修：44万円(うち県費22万円) 部分断熱改修：34万円(うち県費17万円) 通常リフォーム：24万円(うち県費12万円)	

《やまぽっかりノベとは》

国の断熱義務化基準を上回る、県独自の断熱性能基準「やまぽっか基準」を満たす断熱改修工事



【全体断熱改修】

【部分断熱改修】

(壁、床、天井、窓など) (生活空間に限定した断熱改修)

4 建設DXによる生産性向上と人材の育成・確保

建設DX推進

「地域の守り手」である建設産業は、豊かで安全安心な県民生活、経済活動を支えていく上でなくてはならない産業ですが、就業者数の減少や高齢化が急速に進んでいます。

より魅力的な産業となり、将来にわたって担い手を確保し、安定的に発展し続けていくことができるよう、令和5年12月に「山形県建設DX推進戦略」を策定し、4K（給与が高い・休暇が取れる・希望が持てる・かっこいい）実現に向けて、官民双方の生産性向上や働き方改革を協働で推進していきます。

令和8年度実施内容

①山形県建設DX推進協議会

山形県建設DX推進戦略を推進するため、官民が連携した山形県建設DX推進協議会において、推進戦略に掲げた施策の検証、見直し及び改善等を実施

②人材育成及び環境整備

<人材育成>

- 建設現場における生産性向上に向けたICTの活用を実践できる技術者を育成するための研修を
- 将来の担い手確保につなげるため、中高生を対象に、建設業の可能性と魅力を伝える、最新のデジタル技術の体験会を開催

<環境整備>

- 測量、施工、検査などの全プロセスにおいて3次元データの活用による効率化・高度化を図るため、各プロセスを結び役割を担う県が3次元データを扱える環境を整備

建設DXチャレンジ事業

比較的大規模な工事を受注するAランク事業者には、デジタル技術の活用が一定程度広がっている一方、Bランク以下の中小事業者には必要性や効果が十分に認識されていないことなどから、普及が進んでいないことが課題となっています。

そのため、中小事業者が受注する比較的小規模な工事において、操作が簡単で取り組みやすいデジタル技術を負担感のない形で利活用してもらい、メリットを実感してもらうモデル事業を実施します。

モデル工事

活用するICT機器

操作が簡単で小規模工事に適した「自動追尾型TS」を使用機器に指定



【従来】2人以上必要



【ICT活用】1人で可能・操作が簡単

建設業魅力発信

業界と連携し、将来の職業など進路を考える最初の時期である中学生やその保護者、先生等に対し、新しい建設業の姿をPRし、建設業に興味を持ってもらうため、先進的な建設現場の見学会等を開催します。また、建設業の魅力を効果的に伝えるため、中学校の総合学習の時間等で活用できる出前授業コンテンツを作成するとともに、出前授業を実施します。



現場見学会



出前授業

令和8年度実施内容

- 中学生等を対象とした現場見学会の開催
- 動画や体験等の出前授業・コンテンツの作成

建設業人手不足対策

建設業及び建設関連産業への女性や外国人材といった多様な人材活用促進に向け、経営者等向けのセミナー開催や、女性・外国人材へのキャリアアップ（資格取得）支援を行います。

令和8年度実施内容

①多様な人材確保支援事業

- 経営者等向けに、建設業等における女性の働き方やキャリアアップ方法を学ぶセミナー、外国人の就労制度や先進事例を紹介するセミナーを開催
- 外国人就労者に対し、山形での就労や課題等についてインタビューを実施

②キャリアアップ支援

- 女性のキャリア形成推進のため女性を雇用している建設関連企業に対し、技術検定や、建設ディレクター等の資格や免許取得のための費用等を助成
- 外国人材の定着促進のため、外国人を雇用している建設関連企業に対し、技術検定や技能実習生の技能検定等の費用等を助成

土木職等確保・育成対策

総合土木職の人材確保が年々厳しくなる中、社会インフラの整備・維持管理や災害時の応急対応といった、県民生活に必要な不可欠な県土強靱化の取組みを継続するため、リクルート対策の抜本的な見直しによる新たな人材確保を進めていきます。

①新たなリクルート対策

（本県出身者以外への新たなアプローチ）

- 首都圏大学向け土木職ガイダンスの開催
首都圏の土木専攻学生を本県土木職への就職につなげていくための足掛かりとして、大学の担当教授等を対象とした意見交換の場を設定（大学教授等との関係構築を契機に、中長期的に学生と本県との関係構築へつなげる）

②非専門人材の育成の仕組みづくり

- 新たな任用・育成制度の創設
土木分野の専門知識がない人材を任期付職員として雇用し、数年間の勤務の中でOJT等により専門知識を育成することで正職員採用につなげていく、新たな任用・育成の仕組みを構築

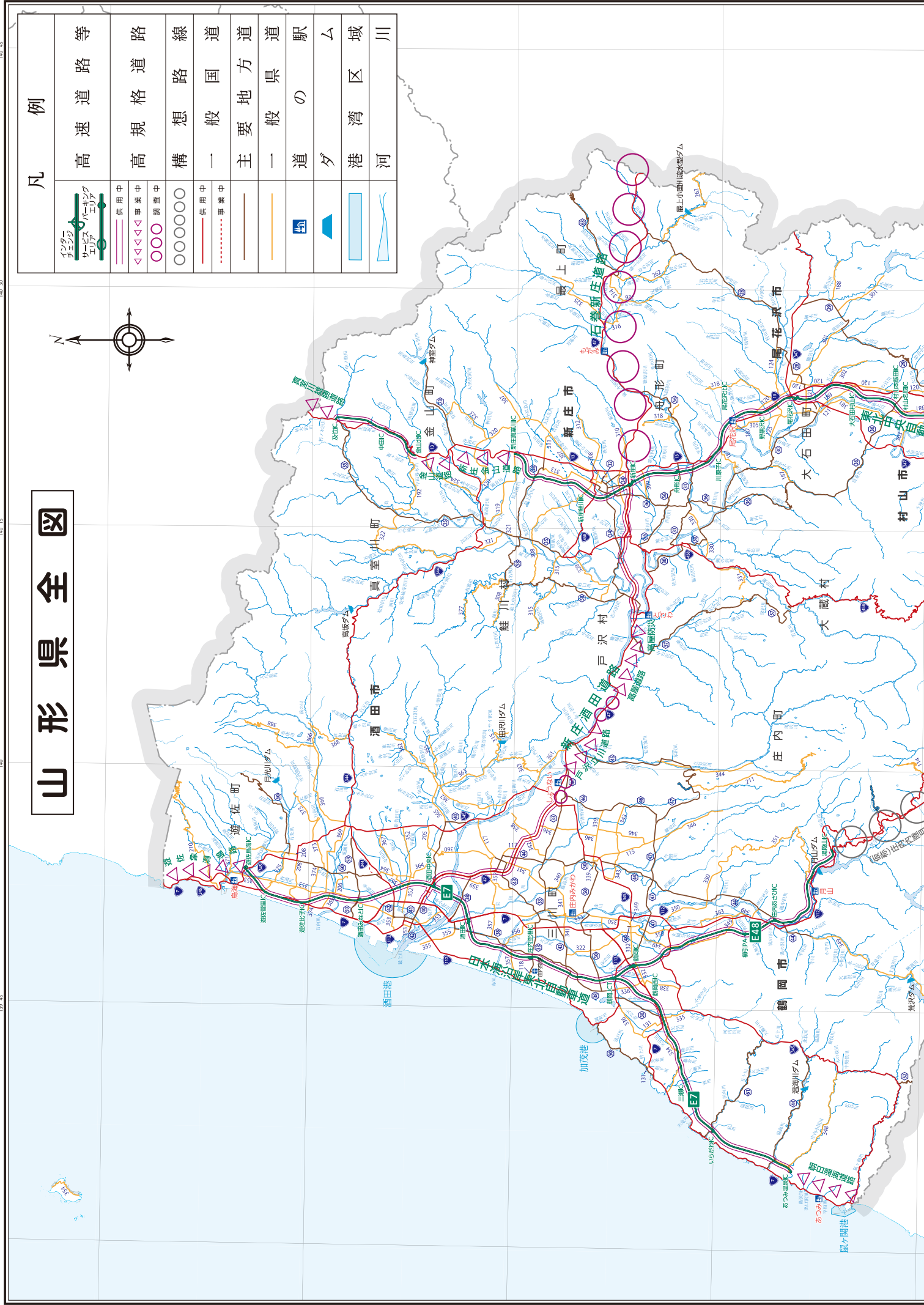
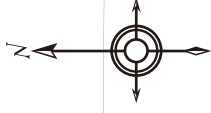
③若手技術職のスキルアップ支援

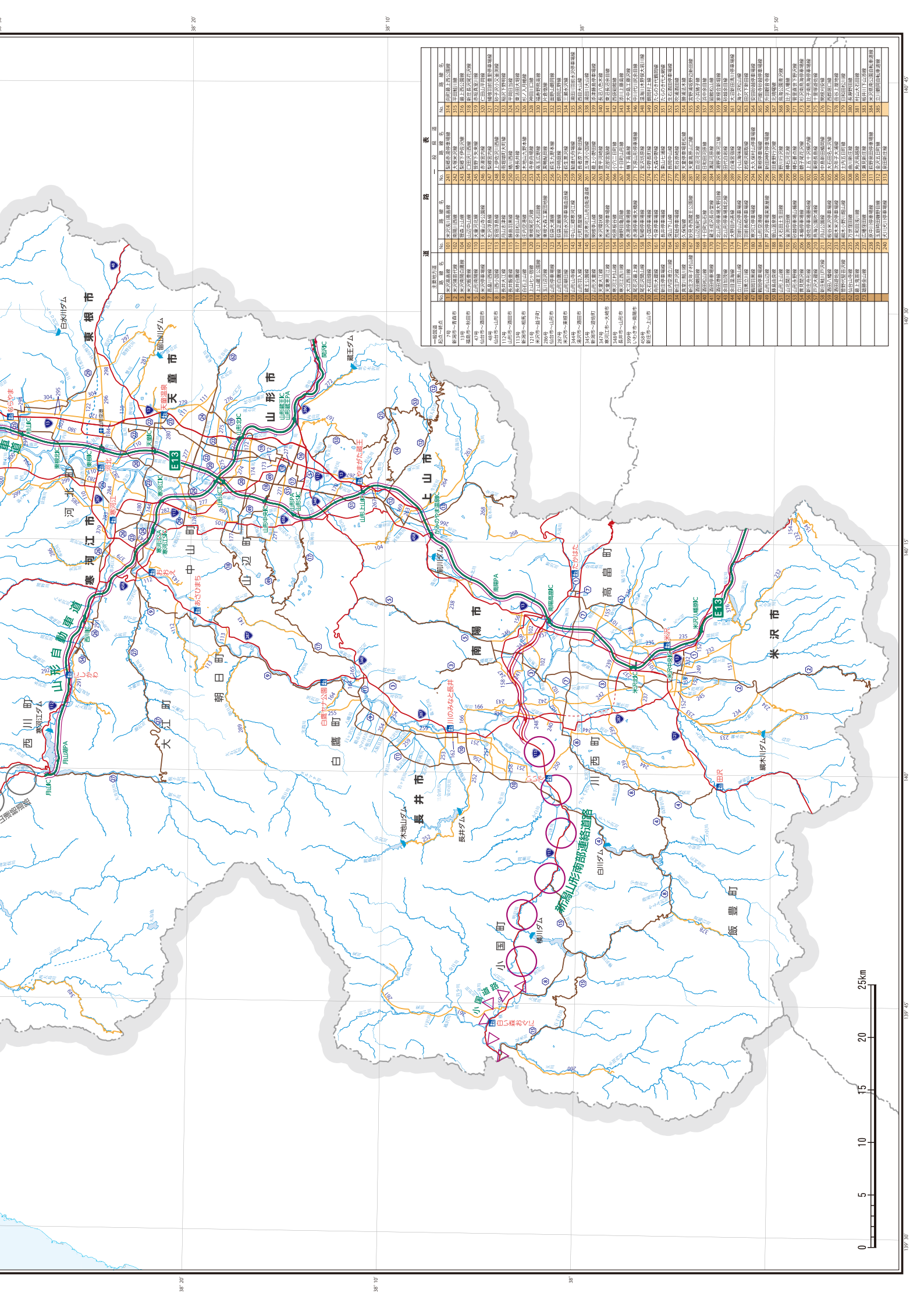
- 国家資格の取得支援
職員一人ひとりが、より高度な専門性をもって業務を遂行できるよう、「技術士」「土木施工管理技士」といった、スキルアップに資する国家資格への若手職員のチャレンジを促進するため、資格取得費の一部を助成
- インフラメンテナンス等のDX推進に向けた勉強会の開催
インフラ維持管理の省力化・コスト削減等に資するDX技術の実装に向けて、若手技術職員が国内最先端の技術を学ぶ勉強会を開催

山形県全図

凡例

インターチェンジ ジャンクション ランプ	高速道路等
供用中 事業中 調査中	高規格道路
供用中 事業中	構想路線
一般国道	一般国道
主要地方道	主要地方道
一般県道	一般県道
道の駅	道の駅
ダム	ダム
港湾区域	港湾区域
河川	河川





道 路 表

道路種別	道路番号	道路名称	道路種別	道路番号	道路名称
1	101	米沢山形自動車道	241	山形県道241号	山形県道241号
2	102	米沢山形線	242	山形県道242号	山形県道242号
3	103	米沢山形線	243	山形県道243号	山形県道243号
4	104	米沢山形線	244	山形県道244号	山形県道244号
5	105	米沢山形線	245	山形県道245号	山形県道245号
6	106	米沢山形線	246	山形県道246号	山形県道246号
7	107	米沢山形線	247	山形県道247号	山形県道247号
8	108	米沢山形線	248	山形県道248号	山形県道248号
9	109	米沢山形線	249	山形県道249号	山形県道249号
10	110	米沢山形線	250	山形県道250号	山形県道250号
11	111	米沢山形線	251	山形県道251号	山形県道251号
12	112	米沢山形線	252	山形県道252号	山形県道252号
13	113	米沢山形線	253	山形県道253号	山形県道253号
14	114	米沢山形線	254	山形県道254号	山形県道254号
15	115	米沢山形線	255	山形県道255号	山形県道255号
16	116	米沢山形線	256	山形県道256号	山形県道256号
17	117	米沢山形線	257	山形県道257号	山形県道257号
18	118	米沢山形線	258	山形県道258号	山形県道258号
19	119	米沢山形線	259	山形県道259号	山形県道259号
20	120	米沢山形線	260	山形県道260号	山形県道260号
21	121	米沢山形線	261	山形県道261号	山形県道261号
22	122	米沢山形線	262	山形県道262号	山形県道262号
23	123	米沢山形線	263	山形県道263号	山形県道263号
24	124	米沢山形線	264	山形県道264号	山形県道264号
25	125	米沢山形線	265	山形県道265号	山形県道265号
26	126	米沢山形線	266	山形県道266号	山形県道266号
27	127	米沢山形線	267	山形県道267号	山形県道267号
28	128	米沢山形線	268	山形県道268号	山形県道268号
29	129	米沢山形線	269	山形県道269号	山形県道269号
30	130	米沢山形線	270	山形県道270号	山形県道270号
31	131	米沢山形線	271	山形県道271号	山形県道271号
32	132	米沢山形線	272	山形県道272号	山形県道272号
33	133	米沢山形線	273	山形県道273号	山形県道273号
34	134	米沢山形線	274	山形県道274号	山形県道274号
35	135	米沢山形線	275	山形県道275号	山形県道275号
36	136	米沢山形線	276	山形県道276号	山形県道276号
37	137	米沢山形線	277	山形県道277号	山形県道277号
38	138	米沢山形線	278	山形県道278号	山形県道278号
39	139	米沢山形線	279	山形県道279号	山形県道279号
40	140	米沢山形線	280	山形県道280号	山形県道280号
41	141	米沢山形線	281	山形県道281号	山形県道281号
42	142	米沢山形線	282	山形県道282号	山形県道282号
43	143	米沢山形線	283	山形県道283号	山形県道283号
44	144	米沢山形線	284	山形県道284号	山形県道284号
45	145	米沢山形線	285	山形県道285号	山形県道285号
46	146	米沢山形線	286	山形県道286号	山形県道286号
47	147	米沢山形線	287	山形県道287号	山形県道287号
48	148	米沢山形線	288	山形県道288号	山形県道288号
49	149	米沢山形線	289	山形県道289号	山形県道289号
50	150	米沢山形線	290	山形県道290号	山形県道290号
51	151	米沢山形線	291	山形県道291号	山形県道291号
52	152	米沢山形線	292	山形県道292号	山形県道292号
53	153	米沢山形線	293	山形県道293号	山形県道293号
54	154	米沢山形線	294	山形県道294号	山形県道294号
55	155	米沢山形線	295	山形県道295号	山形県道295号
56	156	米沢山形線	296	山形県道296号	山形県道296号
57	157	米沢山形線	297	山形県道297号	山形県道297号
58	158	米沢山形線	298	山形県道298号	山形県道298号
59	159	米沢山形線	299	山形県道299号	山形県道299号
60	160	米沢山形線	300	山形県道300号	山形県道300号
61	161	米沢山形線	301	山形県道301号	山形県道301号
62	162	米沢山形線	302	山形県道302号	山形県道302号
63	163	米沢山形線	303	山形県道303号	山形県道303号
64	164	米沢山形線	304	山形県道304号	山形県道304号
65	165	米沢山形線	305	山形県道305号	山形県道305号
66	166	米沢山形線	306	山形県道306号	山形県道306号
67	167	米沢山形線	307	山形県道307号	山形県道307号
68	168	米沢山形線	308	山形県道308号	山形県道308号
69	169	米沢山形線	309	山形県道309号	山形県道309号
70	170	米沢山形線	310	山形県道310号	山形県道310号
71	171	米沢山形線	311	山形県道311号	山形県道311号
72	172	米沢山形線	312	山形県道312号	山形県道312号
73	173	米沢山形線	313	山形県道313号	山形県道313号

県土整備の主な数字

県土整備部が管理する国県道

262路線 約**3,200**km

県土整備部が管理する河川

554河川 約**2,800**km

県内の高速道路の整備率 (R8.1.1時点)

約86% 参考：東北 約94%
全国 約90%

県土整備部が管理するダム

13ダム 参考：国土交通省管理5ダム

県土整備部が管理する国県道の橋梁

約2,500橋 参考：県内 約9,500橋
全国 約73万橋

県内の土砂災害警戒区域

約5,200箇所 参考：全国約69万箇所

県内の道の駅 (R6.8.7時点)

23駅 参考：東北 175駅
全国 1,221駅

県土整備部が管理する港湾

3港湾 ●酒田港 ●加茂港
●鼠ヶ関港

令和6年度の除雪事業費

約92億円 参考：H元年度約12億円
R元年度約41億円
R3年度約95億円(過去最大)

県が管理する公営住宅

198棟 **3,275**戸

やまがたの未来をつくる総合土木職



総合土木職の業務概要や採用試験の情報、
インターンシップの募集情報は、
こちらからご覧ください。

4K空撮動画公開中！

やまがた
Yamagata Keikan Monogatari
景観物語



Instagram始めました！

